

平成 28 年 2 月 18 日

加西市長 西 村 和 平 様

加西市総合計画審議会
会長 牧 瀬 稔

第 5 次加西市総合計画・後期基本計画の策定について（答申）

平成 28 年 1 月 16 日付諮問第 1 号をもって諮問のありました第 5 次加西市総合計画後期基本計画（案）について、慎重に審議した結果、下記の通り答申します。

記

- 1 加西市に新しい住民を呼び込むためには、若者の転入出の原因を調査分析のうえ、仕事、住宅、教育、コミュニティなど基本的な生活基盤の魅力を高める不断の努力の積み重ねが求められます。
5 万人都市再生に向けて、現代の若い世代のライフスタイルや嗜好にマッチした魅力を充実させるとともに、まずは現在居住している人々にとって住みやすいまちとし、進学等でまちを離れた人も回帰するなど、住み続ける人々を確保することが必要です。
- 2 特徴あるものづくり産業の集積、優れた特産物を育む農業の取組み、多彩な内外の交流がありグローバルに開かれたまち、充実した子育て支援環境など、加西市の持つ魅力の積極的な情報発信に努め、市内外の認知度を高める必要があります。そして、一層地域の活力を高めるために、素材をさらに発掘し、組み合わせ、磨きあげ、魅力を高める取組みを推進してください。
- 3 人口減少の克服は、今まで思いもよらなかったことにチャレンジするチャンスとも捉えることができます。多様な家族形態が定着するなか、人財を有効に活用し、コンパクトなまちの住民一人ひとりに目を向けていくことが大切です。

また、元気な住民がいつまでも活躍できるまちづくりをすること、あらゆる場面で高齢者の力を活かせる仕組みをつくることは、美しい加西、優しい加西、活力のある加西にもつながると考えます。

- 4 潜在する地域の才能を掘り起こし、新たな地域創造につなげていく人材を育成していく必要があります。日々の住民の生活に人々を引き付ける地域資源は隠れています。

外からの評価ではなく、自分たちで資源を再発見しようという機運を芽生えさせ旗を振り続けるには、特に中間支援を行う人材の厚みを増すことが重要です。

- 5 上記の4つの課題解決にあたって、加西市では、多様なくらしや夢がかなえられ、今までにない「未来の田舎（ミライナカ）」を創造することが求められます。そのためには、「加西の良さ」について市民の共通意識が大切であり、加西の良さとは何か、加西の魅力とは何か、住民が一言で言えるようになるまで理解を深めることが必要です。

また、加西市において「未来の田舎（ミライナカ）」に見える形にして実感できるよう、具体化に向けたリーディング・プロジェクトの取組みを求めます。

さらに、千三百年の歴史と伝統文化にふれながら、加西の自然の中で遊び、特産の農産物を味わうことができ、子育てをすることに愛着と誇りを感じる住民が増えるようなまちづくりを進めてください。

以上

(付帯意見)

- ・ 計画策定にあたっては、審議会等での議論を充実させるため、会議開催回数等、必要な意見交換の機会確保について配慮を欠くことのないようお願いします。
- ・ 計画の実行段階での施策の評価検証は、外部の有識者等の意見も取入れ、PDCAサイクルの徹底を図るようにしてください。